

# 令和5年度 山形歯科専門学校 学校評価書

※ 評価得点欄の値は、校内評価委員会及び同会事務局の全教職員計13名の評価得点を平均したものである。なお、各自の評価得点は次の基準による。

＜適切－4点、ほぼ適切－3点、やや不適切－2点、不適切－1点＞

また、得点の文字色は次の通りである。

青(3.8~4.0)－「良い」、黒(3.5~3.7)－「まあまあ良い」、ピンク(3.0~3.4)－「要注意」、赤(2.9以下)－「改善必要」

|                              | 評価項目  | 自己評価     |   | 学校関係者評価委員<br>の指導及び助言<br>(順不同)              | 次年度の改善点  |
|------------------------------|---|----------|---|--|--|
|                              |   | 評価<br>得点 | 成果と課題<br>(「学校自己評価報告書」の略記・抜粋)  |  |  |
| 1<br>教育<br>理念<br>・<br>目<br>標 | A 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。                    | 3.8      | <p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 「職業実践専門課程」(文部科学大臣認定)5年目。コロナ禍中とほぼ同様の感染防御体制の中、協力施設との緊密な連携のもと充実した臨地・臨床実習を実施。また、今年度より山形市・上山市の地域保健指導の実習を開始。(A・B・C・E)</p> <p>② 教育課程編成委員会(年2回)で、感染症対策をはじめ、教育活動全般について協議・検討し、学校運営に反映。(A・B・C・E)</p> <p>③ 学校HPの適時更新を推進し、県歯科医師会「やまがた歯科衛生士お役立ち情報」コーナーの活用なども含め、各種学校情報を公開。(D)</p> <p>④ 緊急連絡のシステム変更による利便性向上。また、保護者参入による情報共有等の充実。(D)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 各感染症防御の体制継続のもと、各種校外実習や学校間交流等の方策を細部検討。(A・B・C・E)</p> <p>② 緊急連絡システムの効果的運用。学校HPの使用法の検討。(D)</p> <p>③ 学校の理念や特色、運営方針や体制、さらに修学支援制度等に対する学生・保護者の理解深化と情報共有。(D)</p> | ○ 学生の意識調査結果は概ね良好であり、学校運営が良い評価を受けていると考えられる。 | <p>1 学校の理念や特色、運営方針や体制、各種修学支援制度等について、学生や保護者と情報共有し、さらに理解の深化を図る。</p> <p>2 各感染症防御の体制継続のもと、校内外の学習諸活動について、より実効の上がる内容・方法等を検討し、実施する。</p> <p>3 連絡システムの効果的運用とともに学校HP等の幅広い活用法の検討を進める。</p> |
|                              | B 学校における職業教育の特色は何か。                           | 3.8      |   |  |  |
|                              | C 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。               | 3.4      |   |  |  |
|                              | D 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。  | 3.5      |   |  |  |
|                              | E 学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界にニーズに向けて方向づけられているか。 | 3.5      |   |  |  |
|                              |   |          |   |  |  |
| 2<br>学                       | A 目標等に沿った運営方針が策定されているか。                       | 3.8      | <p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 教員運営委員会による、学校の運営方法や施設設備の整備、職員</p>   | ○ コロナ禍やその後の対応において、概ね適切に学校                  | 1 校内会議の充実を図り、感染症に係る危機管理を含  |

|                       |  |                                 |  |   |  |   |  |
|-----------------------|--|---------------------------------|--|---|--|---|--|
| 校<br>運<br>営           | B 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。                                       | 3. 8                            | の業務改善等に向けた総括的な検討。(A・B・C)   | 運営が為されており、学生の活性に繋がっている。                           | めて校内外の諸課題について柔軟かつ迅速に対応する。                  |   |  |
|                       | C 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。                    | 3. 7                            | ② コロナ禍後の学校運営に係り、協力施設等と緊密な連携をもとにした基本的な感染防御体制の維持・継続。(C・F)                  |   |  |   |  |
|                       | D 人事、給与に関する規程等は整備されているか。                                       | 3. 0                            | ③ オンライン授業やWeb会議の運営体制の充実と向上。(F・H)   |   |  |   |  |
|                       | E 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。                              | 3. 5                            | ④ 学校図書室運営検討委員会の検討を反映させた学習センター機能の向上や充実、学生図書委員会の活動の活性化等による利用の拡大。(A・B・C)    |   |  |   |  |
|                       | F 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。                             | 3. 7                            | ⑤ 学校HPの更新と専用ブログやインスタグラムの活用による学校情報の公開や広報の充実。(G)                           |   |  |   |  |
|                       | G 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。                                    | 3. 8                            | [今後の課題]  |   |  |   |  |
|                       | H 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。                                   | 2. 6                            | ① 学校運営の基本となる校内諸会議の定期開催、感染症に係る危機管理の対策検討等も含め諸課題への迅速な対応。(A・B・C・D)           |   |  |   |  |
|                       |  |                                 | ② データ処理や学生管理等に係るIT化をさらに促進し、教職員の業務の負担軽減と平準化を実現。(H)                        |   |  |   |  |
| 3<br>教<br>育<br>活<br>動 | A 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。                             | 3. 9                            | [主な取組 並びに 成果]  | ○ 「テーマ研究」発表会について、発表内容は大変興味深いものが多く、発表する姿勢や態度も良かった。 | 1 歯科保健行政にかかる臨地実習を拡充させるとともに、臨地実習の相対的な点検を行う。 |   |  |
|                       | B 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | 3. 7                            | ① 臨床実習指導者会議や同指導歯科衛生士会議のWeb開催化による出席者の増大と指導方法等の情報共有。(D・E・F・H)              |   |  | ○ 授業評価において、2年生の自己評価・講師評価が他学年より低い。中弛みとも言われるが、配慮が必要ではないか。 | 2 外部講師による特別授業や学校間交流事業の充実を図り、各人の知識技能定着や学びの深化をめざす。 |
|                       | C カリキュラムは体系的に編成されているか。   | 3. 8                            | ② 協力施設との緊密な連携のもと、臨地実習は向上が図られ。成就感や達成感の獲得に結実。山形市と上山市の保健指導業務実習を開始。(B・D・E・F) |   |  |   |  |
|                       | D キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などが実施されてい             | 3. 8                            | ③ オンラインによる米国の大学教授の特別講演会を実施(3回目)。米国・東京・本校を直接結ぶ貴重な体験授業。(C・D・E・F)           |   |  |   |  |
|                       |  |                                 | ④ 外部講師の特別授業を3学年を中心に数多く実施。各専門分野の先端的な知識や技術の学習による意欲向上。(C・D・E・F)             |   |  |   |  |
|                       |  | ⑤ 3年「テーマ研究」の発表内容の向上、公共施設を使用した発表 |  |   |  |   |  |

|   |  |      |  |  |      |
|---|--|------|--|--|------|
|   | るか。  |      | 会の充実、Webによる振り返り視聴を実施。(D・H)                               |  |      |
|   | E 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成や見直し等が行われているか。          | 3. 8 | ⑥ 中間期授業評価の実施による授業の質向上と学修意欲の惹起。<br>(G・L)                  |  |      |
|   | F 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。   | 3. 8 | [今後の課題]<br>① 歯科保健行政に係る臨地実習の拡充。臨床実習協力施設との連携強化。(A・B・C・E・F) |  |      |
|   | G 授業評価の実施・評価体制はあるか。  | 3. 9 | ② 外部講師による特別授業のさらなる充実。学校間交流事業の内容の精選。(K・L)                 |  |      |
|   | H 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。                               | 3. 9 | ③ 教職員の指導力向上に向けた校内外の各種研修の充実。歯科医療現場における教員研修実施の検討。(M・N)     |  |      |
|   | I 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。                            | 3. 8 |  |  |      |
|   | J 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。                      | 3. 8 |  |  |      |
|   | K 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。                   | 3. 7 |  |  |      |
|   | L 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。    | 3. 5 |  |  |      |
|   | M 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。 | 3. 4 |  |  |      |
|   | N 職員の能力開発のための研修等が行われているか。                                    | 3. 0 |  |  |      |
| 4 | A 就職率の向上が図られているか。  |      | [主な取組 並びに 成果]  |  | 討する。 |

|                  |  |      |   |  |   |
|------------------|--|------|---|--|---|
| 学<br>修<br>成<br>果 |  | 3. 8 | ① 昨年度に引き続き、国家試験全員合格・資格取得100%達成に向けた取り組み。(A・B)  | ○ 「先輩歯科衛生士から学ぼう」の講演会は大変有意義であり、今後も継続すべきだ。身近な先輩の体験談は心に響くと思う。講師役の同窓生を評価したい。 | 1 3年間を見通した国家試験対策を検討し、学年や習熟度に応じた指導の具体策を策定する。<br><br>2 学生自治会主催講演会を継続し、同窓生の活躍等を評価するとともに在学生の目的意識の高揚を図る。<br><br>3 個別面談・保護者面談、学校カウンセリング等を通じ、学生や家庭との意思疎通を重視していく。 |
|                  | B 資格取得率の向上が図られているか。                      | 4. 0 | ② 個別面談の積み重ねとともに、面接練習の実施等就職支援の充実による意識の向上。(A)   |  |   |
|                  | C 退学率の低減が図られているか。                        | 3. 5 | ③ 卒後1年者に対する定期連絡等(一昨年度開始)による状況把握。早期離職防止や就業の達成感獲得に効果。(D・E)  |  |   |
|                  | D 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。            | 3. 7 | ④ 学生自治会主催講演会「先輩歯科衛生士から学ぼう」の開催(2年目)。在校生の意識向上とともに同窓生の活躍の評価となり有意義。(A・D・E)  |  |   |
|                  | E 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか。 | 3. 4 | ⑤ 学生個別面談の適宜実施による、学生の状況把握と担任との信頼関係の構築。(A・C)  |  |   |
|                  |  |      | [今後の課題]<br>① 校内外での日常的な指導とともに、各分野の特別講師による指導の充実による医療専門職として職能理解の深化(B・C)<br>② 3年間を見通した国家試験対策の検討、特に1・2年時における段階を捉えた指導方法の工夫。(B)<br>③ 学生の個別面談や保護者・家族面談、また学校カウンセリング等による学校と家庭の密接な連携の構築。(C)<br>④ 在宅の有資格者への復職支援の取り組みに対する協力、それに係る関係団体との連携の強化。(D) |  |   |
| 学<br>生<br>支<br>援 | A 進路や就職に関する支援体制は整備されているか。                | 3. 9 | [主な取組 並びに 成果]<br>① 各担任による学生との個別面談や保護者面談、進路選択・決定期における教務主任面談・面接練習等による支援体制の強化。また、コロナ・インフルエンザ等感染症対策による心身の安定に注力。(A・D・G)  | ○ 細やかに各種面談を行っていることは学生生活の安定に繋がっていると思われる。                                  | 1 本校独自の修学支援制度を見直し、学生の修学意欲の向上や入学希望者の増大に繋げる。<br><br>2 「高等教育の修学支援新制度」「専門実践教育訓練給付制度」の活用を推進し、学業生活の安定化を図る。  |
|                  | B 学生相談に関する体制は整備されているか。                   | 3. 9 | ② 学校カウンセラーによる教育相談活動の充実。(B)  |  |   |
|                  | C 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。               | 3. 9 | ③ 「高等教育の修学支援新制度」(文部科学省)による幅広い支援。多数の学生への大きな経済援助として有益。(C・I)   |  |   |
|                  | D 学生の健康管理を担う組織体制はあ                       |      | ④ 「専門実践教育訓練給付制度」(厚生労働省)の対象者に係る当該  |  |   |

|           |   |             |   |   |   |
|-----------|---|-------------|---|---|---|
|           | るか。   | <b>3. 9</b> | 事務の順調な遂行。(C・I)  |   |   |
|           | E 課外活動に対する支援体制は整備されているか。                      | <b>3. 3</b> | ⑤ 夏季休暇中における1年生の出身校(母校)訪問を実施。高校側の卒業指導としても高評価獲得。(A・B・J)   |   |   |
|           | F 学生の生活環境への支援は行われているか。                        | <b>3. 5</b> | [今後の課題]<br>① 本校修学支援制度「特待生制度」「奨学生制度」の内容を点検し、必要に応じ改正を実施。(C)                                       |   |   |
|           | H 保護者と適切に連携しているか。                             | <b>3. 5</b> | ② 「高等教育の修学支援新制度」の円滑な運用。また「専門学校教育訓練給付制度」の対象者の増員。(C・I)<br>③ 校内外の経済支援制度等に係る広報の充実。(C・I)             |   | 3 校内外の経済支援制度等について広報し、趣旨や制度内容の浸透を図り、さらに活用を推進する。  |
|           | I 卒業生への支援体制はあるか。                              | <b>3. 5</b> |   |   |   |
|           | J 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。                  | <b>3. 7</b> |   |   |   |
|           | K 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。    | <b>3. 6</b> |   |   |   |
| 6<br>教育環境 | A 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。           | <b>3. 5</b> | [主な取組 並びに 成果]<br>① 歯科診療ユニット等重要な設備機器の更新・整備を実施。安定した実習指導に効果。(A)                                    | ○ 米国の大学教授のWebによる特別講演会は、先進国の歯科医療事情を知る上で有効である。<br>○ 旧型施設設備の改善は中長期的な展望のもとで検討していく必要がある。 | 1 更新した実習用歯科ユニットを有効活用するとともに関連機器等の利活用を進め、学習環境の向上を図る。<br>2 旧型校内施設の更新整備を検討するとともに、定期的な校内設備等の安全点検を実施する。<br>3 5年ぶりの米国特別講師の対面指導により、世界の先進的な歯科医療事情への理解を深める。 |
|           | B 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 | <b>3. 0</b> | ② 学生図書委員会活動の活性化による学校図書室の学習環境向上。(A)  |   |   |
|           | C 防災に対する体制は整備されているか。                          | <b>3. 5</b> | ③ 学生用PCタブレット分離型の新機種に更新し、授業の他多様な用途に使用。(A)  |   |   |
|           |   |             | ④ 学生用緊急連絡システムを更新。保護者の参入による危機管理の確度向上と用途の幅の拡大。(A・C)<br>[今後の課題]<br>① 他の旧型校内施設設備の更新整備について、学校運営の中長期的 |   |   |

|                                       |                                |      |   |  |   |
|---------------------------------------|--------------------------------|------|---|--|---|
|                                       |                                |      | <p>展望のもとで検討。また定期的な校内設備点検の実施と計画的な整備の実行。(A・C)</p> <p>② 更新した施設設備の有効活用による学習活動の充実。(A)</p> <p>② 米国大学教授の特別授業を5年ぶり対面実施の予定。国際的な幅広い視野の獲得。(B)</p>  |  |   |
| 7<br>学生<br>の<br>受<br>入<br>れ<br>募<br>集 | A 学生募集活動は適正に行われているか。           | 3. 5 | <p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① オープンキャンパスについて、夏(3回)・冬(1回)にミニOCを3回加えて計7回実施。担当学年の学生を運営主体として学校の特色を強調。(A)</p> <p>② 高校主催進学ガイダンスや個別学校訪問等、可能な限りの対面での広報を実施。(A・B)</p> <p>③ 学校HP、専用ブログ・インスタグラムの適時の更新。(A・B)</p> <p>④ 本校独自の修学支援制度、「高等教育の修学支援新制度」、「専門実践教育訓練給付金制度」等経済支援体制の広報。(A・B)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 入学者選抜に係る日程や方法等の全面的な改善検討。(A・B)</p> <p>② 高校訪問、進学ガイダンス、中学校出前授業等、対面での広報についてのさらなる工夫検討。(A・B)</p> <p>③ オープンキャンパスの回数や内容・方法の改善検討。(A・B)</p> <p>④ 学校HP、専用ブログ・インスタグラムの他、SNS上の各種広報手段の充実。(B)</p> | <p>○ 少子化の進行は非常に激しく、どの領域や分野でも大きな課題となっている。今後さらに深刻化することが予想され、中長期的に見て学校運営全体を見直す必要がある。</p> <p>○ 男子学生や社会人経験者の「学び直し」入学への対応が充実すればいい。</p> <p>○ 歯科衛生士の需要は高く、それに見合った志望者増を期待したい。周知方法をさらに検討すべきである。</p> <p>○ 少子化問題は社会全体の深刻な共通課題である。キャリアイメージ作りを中長期的に検討すべきである。</p> | <p>1 入学者選抜の日程や方法等を全面的に改善し整備を行うことにより、意欲溢れる志願者の増大を図る。</p> <p>2 高校訪問、高校進学ガイダンスや会場ガイダンス、中学校出前講座等による広報を充実させる。</p> <p>3 学校HP、専用ブログ・インスタグラム等、SNS上の各種広報を幅広く取り入れる。</p> |
|                                       | B 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 | 3. 4 |   |  |   |
|                                       | C 学納金は妥当なものとなっているか。            | 3. 6 |   |  |   |
|                                       |                                |      |   |  |   |
| 8<br>財<br>務                           | A 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。    | 2. 9 | <p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 予算の執行と適切な財務管理。(B・C・D)</p> <p>② 各種経済支援制度に係る円滑な事務処理。(B)</p> <p>③ 財務状況の学校HP上の公開。(D)</p>  | <p>○ 少子化が激しく進行する中で、学校の経営規模や運営方法等について改善検討をしていく必要があるのではないか。</p>  | <p>1 「高等教育の修学支援新制度」「専門実践教育訓練給付制度」、本校修学支援制度の確実な運用を行う。</p> <p>2 少子化進行に備え、中長期的な学校経営計画の策定</p>   |
|                                       | B 予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか。    | 3. 4 |   |  |   |
|                                       | C 財務について会計監査が適正に行わ             |      |   |  |   |

|             |                                    |             |   |                                      |  |
|-------------|------------------------------------|-------------|---|--------------------------------------|--|
|             | れているか。                             | <b>3. 6</b> | [今後の課題]   |                                      | とともに、施設設備の改善整備、更新等を順次行う。   |
|             | D 財務情報の公開の体制整備はできているか。             | <b>3. 5</b> | ① 「専門実践教育訓練給付制度」(厚生労働省)や「高等教育の修学支援新制度」(文部科学省)等の有効活用による入学者の確保。(A)              |                                      | 3 日常的な経費節減を心がけ、より安定的な経営環境を構築する。  |
|             |                                    |             | ② 本校独自の修学支援制度の改善検討。(A・B)  |                                      |  |
|             |                                    |             | ③ 定員を充足しつつ、日常的な経費節減に努めることによる安定的な経営の継続。(A・B)                                   |                                      |  |
|             |                                    |             | ④ 中長期的な学校経営計画の策定とともに、施設設備の改善整備、物品更新、不具合箇所修繕等の確実な執行。(A)                        |                                      |  |
| 9<br>法令等の遵守 | A 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。   | <b>3. 9</b> | [主な取組 並びに 成果]   | (特になし)                               | 1 少子化下の学校運営等について、企業等委員や外部有識者より指導助言を受けながら適正な運営をめざす。<br>2 学校評価等を含めて各種学校情報の公開を推進し、学校運営の適正化と客観化を図る。<br>3 SNS、スマートフォン使用時の情報管理等について、専門家による指導を実施する。 |
|             | B 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。      | <b>3. 7</b> | ① 学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会を年2回、学校図書室運営検討委員会を年1回開催。各委員会とも企業等委員等の外部有識者との協議の充実。(A・C) |                                      |  |
|             | C 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。           | <b>3. 9</b> | ② 学校評価事業8年目、学校運営の改善や工夫に効果。主な事業内容を学校HP上に公開。(A・C・D)                             |                                      |  |
|             | D 自己評価結果を公開しているか。                  | <b>3. 8</b> | ③ 文部科学省が示すガイドラインに従った情報公開(学校HP上)を実施。(A・C)                                      |                                      |  |
|             |                                    |             | ④ 本校「個人情報保護方針」の学校HP上での公開。(B)  |                                      |  |
|             |                                    |             | [今後の課題]   |                                      |  |
|             |                                    |             | ① 保護者・家族、歯科医療関係者への適切な学校情報の周知。(D)  |                                      |  |
|             |                                    |             | ② SNS、スマートフォン使用時の情報管理に係る専門家による指導の実施。(B)                                       |                                      |  |
| 10<br>社会貢献・ | A 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 | <b>3. 6</b> | [主な取組 並びに 成果]   | ○ 発表会や地域行事参加等学生がいきいきと活動している様子はとてもよい。 | 1 第3学年「テーマ研究」発表会をWeb上で公開し、振り返り視聴も充実させる。また、県内学会等での発表を行い、広く学修成果を発信する。  |
|             | B 学生のボランティア活動を奨励や支援をしているか。         | <b>3. 4</b> | ① 「山形花笠祭りパレード」への全校参加。地域からの高評価。大きな達成感の獲得。(A・B)                                 |                                      |  |
|             |                                    |             | ② 内閣府主催「東南アジア青年の船」事業の山形県表敬訪問交流会における「花笠踊り」披露(3年生22名)。(A・B)                     |                                      |  |

|              |  |     |  |  |
|--------------|--|-----|--|--|
| 地域<br>貢<br>献 | C 地域に対する公開講座や教育訓練(公共職業訓練等含)の受託等を積極的に実施しているか。 | 3.0 | <p>③ 学校周辺の地域清掃ボランティアを年2回実施。(B)</p> <p>④ 3学年「テーマ研究」発表会に係るWeb上の振り返り視聴の一部公開。(A・C)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 第3学年「テーマ研究」発表会のウェブ公開と振り返り視聴体制のさらなる推進。(A・C)</p> <p>② 県内郡市区歯科医師会との連携による地域貢献活動、歯科保健活動の推進。(A・C)</p> <p>③ 地域行事への参加等、社会貢献・地域理解に係る活動の推進。<br/>(A・B)</p> | <p>2 郡市区歯科医師会との連携による地域貢献活動や歯科保健活動への参加を推進する。</p> <p>3 地域の祭りへの参加や周辺ボランティアの推進をはじめ、地域との交流や発信の方策等を検討する。</p> |
|              |  |     |  |  |